

研究課題名：がん患者における低ナトリウム血症発現頻度の検討

1. 研究の対象

2020年4月～2021年3月に当院を初診で受診された方。

2. 研究目的・方法

がん患者さんでは、がんに伴うバゾプレシン分泌過剰症（SIADH）の影響や抗がん剤による治療の影響で低ナトリウム血症が頻発すると考えられていますが、その実態は未だ明らかではありません。本研究では、過去1年間に当院を受診されたがん患者さんの中から低ナトリウム血症(血清ナトリウム 135 mEq/L 以下)を示した患者さんをリストアップし、1) 治療開始前(初診時)から低ナトリウム血症を呈していた患者さんと、2) 治療開始後に低ナトリウム血症発症した患者さんに分類します。1) に関してはがんの種類を検討を、2) に関しては使用されたがん治療薬の種類を検討を行います。低ナトリウム血症は意識障害などによりがん患者さんの予後に悪影響を及ぼすため、その早期の診断・治療が重要ですが、本研究によりどのようながんで本症が起りやすいか、またどのような治療で本症が起りやすいかを明らかとすることは、今後がん患者さんの診療を進めるうえで大変有用であると考えられます。研究期間は2021年7月(倫理委員会承認後)から2022年3月までです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

疾患名、治療歴、検査結果データ 等

4. 外部への試料・情報の提供

東北大学へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。

5. 研究組織

宮城県立がんセンター	山崎 知子 (研究責任者)
宮城県立がんセンター	村田 孝次
東北大学大学院医学系研究科	菅原 明
東北大学大学院医学系研究科	横山 敦

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先：

宮城県立がんセンター治験・臨床研究管理室 倫理審査委員会担当 寺島 貴之
〒981 - 1293 宮城県名取市愛島塩手字野田山 47 の 1
TEL 022-384-3151 (代表) (内線 974)

研究責任者：

宮城県立がんセンター頭頸部内科 山崎 知子

研究代表者：

東北大学大学院医学系研究科 分子内分泌学分野 菅原 明